

# 穴生学舎かわら版

第16号

穴生学舎

新聞編集委員会

## 第20回ふれあいスポーツ大会 2ポイント差で紅組勝利

### 652名がドームに集結

第20回ふれあいスポーツ大会は6月15日、穴生ドームで開催。研修生とボランティアグループ・クラブ・同好会のメンバーのほか、一般から約100名、お孫さん22名など652名が参加。対抗戦では141対139と2ポイントの僅差で、紅組が勝利した。

まず濱田正夫さんと福崎律子さんが選手宣誓。松本佳織指導員の号令で、



グラウンドいっぱいに広がってけが予防のストレッチ体操=ドーム

一回戦は紅組、二回戦は白組が勝って引き分けた。前半のプログラム最後の「炭坑節」。一般参加者も含めた二重の輪が、グラウンドいっぱいに広がった。呼び物は、午後からの競技開始前に行われた「紅白応援合戦」。演目は、長谷川善子さん率いる紅組が銭太鼓を使った「おこさ節」、中野陽子さんをリーダーとする白組がゴールデンボンバー「女々しくて」。わずか五分間に凝縮された情熱で、会場を魅了した。締めくくりに、フォークダンス。閉会式後、会場撤去と清掃で全日程を終えた。

### 関係者各位に感謝



穴生学舎 日野俊彦所長

皆さんの競技に熱中する姿に驚きました。ことに応援合戦は、紅白両組のチームワークも良く、よくここまで仕上げたものだと感じさせられました。熱中症などを心配しましたが、大きなトラブルもな

### 思い出深い大会に



大会実行委員会 宮田勝利委員長

今大会のテーマは「一明るく終えることが出来ました。事前準備と進行管理のおかげと感謝しています。大会をきっかけに、仲間を増やしましょう。今後は誰もが参加できる競技も盛り込めればと思います。

く楽しく二心のふれ合いを大切に三怪我なく。すべてが満点で無事終わりました。思い出深い大会でした。殊に、上着の色を鉢巻と揃えたことでチームワークが取れ、それぞれよく纏まりました。応援団は一ヶ月近くの練習に耐え両チームとも見事な出来栄でした。今大会の成功は、健康ボランティア会や学舎・ドームの職員の皆様のご協力の賜物と、心から感謝しております。

### 大会実行委員会

## 歩みとまとめ

#### 第一回会議=4/23

●自己紹介●正副委員長の選出 ●24年度大会のビデオ放映等

(大会の全容説明と前年度からの申し送り事項の説明)

#### 第二回会議=5/9

●以下についての具体的な説明…プログラム・役決め・出場選手・救護係・駐車場・昼食・競技図・応援席 (各コース応援団の招集・上着を鉢巻と同色にする)

#### 第三回会議=5/22

●設営・撤去と選手招集

●開閉会式の役割分担・コースの看板・競技図の説明

#### 第四回会議=6/7

●オープニング・閉会式について ●会場設営と予行演習について ●駐車場・救護係・観覧席・服装・その他について

#### 【まとめ】

全般的に大きな怪我もなく、スムーズに運営できてよかった。選手名簿リストの記載方法を考慮してほしい。スポーツ大会の開催時期を検討してほしい。